| 学校番号 | 1006 |
|---|---|

# 令和２年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　改訂版　日本史Ａ　人・くらし・未来（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新日本史図表　三訂版　（第一学習社） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代の日本の歴史について、資料などを参照しながら学習します。
・現代の日本や世界の諸課題について、授業で扱う歴史的事象と関連させて考えることで、歴史に立脚した思考力を養います。そのため、授業についての予習や復習だけでなく新聞やニュースなどで現代の社会についての幅広い知識を収集しましょう。

## ２　学習の到達目標

・現代の諸課題を日本の歴史に立脚した観点から考察する。
・日本の歴史を文献や芸術品などの諸資料に基づいて考察し、日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c: 資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日本の、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力し、国際社会に生き、国家・社会を形成する主体としての責務を果たそうとする。 | 現代の世界の諸課題を日本史に関する歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 日本の歴史についての事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 近代(幕末、明治) | ・近代への胎動<br>・明治維新<br>・近代国家の確立<br>・対外関係の変化<br>・政党政治の展開 | ○ | | | ○ | a: 日本の近代国家の成立過程について、その時代の人物や遺跡・遺物などにふれ、関心を養う。<br>d: 日本の近代国家形成過程とその特徴を理解している。 | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート |
| 2学期 | 近代(明治～昭和前期) | ・近代産業の発展と社会運動の展開<br>・国民生活の変化と文化<br>・第一次世界大戦と日本<br>・第二次世界大戦と日本 | | | ○ | ○ | c: 地域に残る遺跡や遺物を調べ、まとめる力を身につけている。<br>d: 日本の近代国家の展開過程で、民衆運動がおこったり、戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどんな性格であったかを理解している。 | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート |
| 3学期 | 現代(昭和後期) | ・日本の再出発<br>・独立後の政治と対外関係<br>・　オイルショックまで | | ○ | | ○ | b: 戦前と戦後の基本的違いを認識するとともに、戦後の変遷を考え、まとめ、表現できる。<br>d: 戦後の日本が戦前の国家の構造と全く違う民主的な国家体制になったことを理解する。 | 確認テスト<br>単元テスト<br>授業ノート |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。